

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
27-226	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	コⅡ 332	MY WAY English Communication Ⅱ New Edition		

1. 編修の基本方針

本書は、英語教育を通して、次の3点を教育理念として掲げる。

1. 「ことばの教育」に資する

コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばに対する興味・関心を高め、考える力・思考力・表現力を伸ばし、豊かな言語観を育成する。

2. 「国際理解教育」に資する

ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけではなく地域や民族の個性も同時に尊重し合う、豊かな文化観と真の国際理解の基礎を養う。

3. 「人間教育」に資する

今日のグローバル社会に生きる子どもたちに、英語を学びながら、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

英語教育は、学校教育の一環としての人間形成の教育であり、ことばの教育を教科独自の課題とし、国際理解教育に対してはとりわけ大きな役割を担っている。この認識に基づき、上記3点の教育理念を具現化するため、特に次の5点を編集の基本方針とする。

- ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。
- ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。
- 言語能力の本質としての思考力の養成を土台として、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。
- 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する題材内容を提示すると共に、「言語の使用場面」と「言語の働き」に留意しながら、創造的な言語活動を目指す。
- 「コミュニケーション英語Ⅰ」における学習で習得した能力を更に伸ばさせながら、4技能における言語活動の総合的かつ統合的な関連を図る。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材	①各課でとりあげた題材については、幅広く高校生の知的興味・関心を高めるものを選択し、「生きる力」を育成するに資するテーマを配置した。(第1号)	各本課LESSON 各課OPTIONAL READING
	②読み物教材においては、高校生の感性に訴える作品を配置した。(第1号)	Reading1,2
	③キャリア教育(第2号)、正義と責任(第3号)、科学教育・環境教育(第4号)、生命の尊重(第4号)、平和教育(第5号)、および国際理解教育に結びつくものとして、わが国の伝統文化や他国の文化を扱ったもの(第5号)を配置した。	自分の将来について考える (第2号) LESSON2,4,7,9,10 正義と責任(第3号) LESSON2,3,4,7 科学教育・環境教育(第4号) LESSON2,4,6,10 生命の尊重(第4号) LESSON3,4,5,7 平和教育(第5号) LESSON3,4,9 日本の伝統文化(第5号) LESSON1,10 他国の文化(第5号) LESSON1,3,8,10
言語活動	①各課末の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。(第2号)	各課末 考えてみよう 各課末 Self Expression
	②ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮した。(第3号)	各課末 Self Expression 各Activity Corner
登場人物	主な登場人物の配置及び活動においては、男女・出身地域の偏りがないように配慮した。(第3号、第5号)	各本課LESSON 各課OPTIONAL READING 各Activity Corner
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイント、などが生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。(第2号)	もくじ/各LESSONおよびOPTIONAL READING / Activity Corner の構成 / Before You Read / 文法のまとめ / Sounds / Vocabulary Building / 巻末「文型・文法例文集」など

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 日本の文化については、理解するとともに発信していく態度を養えるように、題材や活動の面で配慮した。
2. 外国の文化については、英語を母語とする地域のみならず、国際理解の観点から他の地域の文化についても扱った。
3. ことばへの関心などについても、多面的に考えることができるように扱った。
4. 人間としての豊かな心や人間のもっている微細な感情を意識し、そしてまた、幅広い観点からものごとを考えることができるような習慣形成に資する読み物を配置した。
5. 環境にやさしい教科書づくりを心がけた。用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
27-226	高等学校	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	コⅡ 332	MY WAY English Communication Ⅱ New Edition		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示された教育の方針や高等学校外国語科の教科目標および本書の教育理念に基づき、教科書の構成・配列や各領域などの系統・内容に関して、特に以下のことに意を用いた。

(1) 基本方針

- ①多様化している生徒の実態を考慮し、質量ともに充実を図る。
- ②「コミュニケーション英語Ⅰ」の内容を踏まえて、「コミュニケーション英語Ⅱ」への接続が円滑に図られるように配慮する。
- ③4技能のバランスを重視し、総合的・統合的に英語でのコミュニケーション能力が育成できるように、構成・内容を工夫する。
- ④教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮する。
- ⑤基礎的な知識や技能を確実に習得し、それらの知識や技能を実生活の中で活用できる力を、繰り返し段階的に育成できるような教科書構成にする。
- ⑥英語の文章を読んだり聞いたりすることにより、視野を広げ、ことば・文化・人間・社会・自然などについて考えたり、多くの人と関わる経験をする中で、思考力・判断力・表現力を養えるような配慮をする。また、そうした活動・体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容にする。
- ⑦学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、活動、選択的教材、巻末の付録などを充実させた。

(2) 本書の特色と編集上の留意点

A. カリキュラムと分量

教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせた。

B. 題材内容

- 1) ことばの教育、国際理解教育、人間教育を題材内容の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、生徒の興味を喚起する内容にした。
- 2) 題材は、日常生活・学校生活、国際協力や社会貢献、言語と民族、人権、比較文化、平和や地球環境、自然科学や芸術、伝統文化、歴史、人間としての生き方など多様な内容にした。文章は、スピーチ、レポート、レクチャー、対話文、説明文、物語など変化をもたせた。
- 3) 場面や登場人物は、英語が広く使われている現況と国際理解の課題との関係から、日本を中心に、英米を中心とした英語圏諸国、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、中南米の国および人物を配置した。

C. 言語材料の扱い

- 1) 言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができるように配慮した。
- 2) 「文法事項」はGrammarに示し、表現活動に活用することを基本として、「コミュニケーション英語Ⅱ」

では、より発展的な文法事項を扱った。

- 3) 「文構造」は、英語で言語活動を行うにあたって使用できるように、より運用度が高いものを扱った。
- 4) 各レッスンのセクション1には「コミュニケーション英語Ⅰ」の復習文法項目を設け、本課に負担なく移行ができるように配慮した。
- 5) 「基本文」は本文右ページのGrammarに示し、本文からの提示とした。
- 6) 「単語」は、中学校既習語を1,022語、「コミュニケーション英語Ⅰ」の既習語を413語とし、それ以外の語を新語として傍注で示した。また、「連語・熟語」「表現」については、脚注下段で示した。
- 7) 「音声」については、標準的な米音を基本とした。

D. 言語活動

言語活動は、主に本課本文、Activity Corner、Self Expressionなどで、言語の「使用場面」を考慮し、4技能の総合的・統合的な関連が図れるように、スピーチ、書籍記事、対話、レポート、討論などさまざまな形式を工夫した。また、「言語の働き」に留意し、特に会話で多用される慣用的な表現についても、「コミュニケーション英語Ⅰ」における学習を踏まえながら、基本的なものを精選して系統的に扱った。

E. 本書の構成と内容

- 1) 各課の本文は、4技能の習得を目指す総合的な教材とした。各課のセクション数は原則として3～4で構成されている。
- 2) 各課の基本文は本文右ページのGrammarで提示し、それに関連する文型・文法項目を扱った。本文中には<G>マークで該当する文を示した。
- 3) 各ページの傍注には新語を示し、脚注には、上段に本文の内容に関するQ&A、下段に連語・熟語、表現を示した。表現の一部については訳語を付した。

本文使用語のうち、中学校既習とみなした語は、巻末「Word List」の中で太字体(ボールド体)で示した。

- 4) 各課の始めには「Before You Read」を設け、生徒がすでに身につけている題材の背景知識を活性化させる一助とした。
- 5) 各課の練習問題は、セクションごとの「Read Again」「TRY」、各課末の「Comprehension」「Self Expression」「Exercise」で構成し、4技能の言語活動が、総合的・統合的に行われるように配慮した。
「Read Again」は各セクションの本文内容をまとめる問題。「TRY」は新出文型・文法項目の基礎的な確認問題。「Comprehension」は本課全体の内容確認と要約、および本課の中心的なテーマをつかむための読解問題。「Self Expression」は本課の題材内容に関連して自分の考えを発信する創造的な言語活動に資するものとし、「Exercise」は新出の文法項目や連語・熟語、表現などの練習とした。
- 6) 各課の最後には「Optional Reading」を選択的教材として配置し、本課に関連するテーマを別の角度・視点から考えることができるようにした。
- 7) 「Reading Skill」は、各課の第1セクションに配置し、読み方の技術としての基本を系統的に示した。
- 8) 課間の「文法のまとめ」は、主な文法項目を包括的に捉え直し、より汎用性の高い活用に結びつけられるようにした。
- 9) 課間の「Sounds」では、音声指導のための、子音・母音の発音、フォニックス、強勢、リズム、イントネーション、音のつながりを扱った。
- 10) 課間の「Vocabulary Building」は、語彙の性質を多角的に考察し、語彙力を身につける一助とした。
- 11) 巻末付録に「文型・文法例文集」を設け、本課レッスンで学習した文型・文法事項の例文を多く記載し、整理と活用に資した。
- 12) 巻末付録に「Idiom List」「Word List」を設け、中学校既習とみなした語(1,022語)と「コミュニケーション英語Ⅰ」の新出語(413語)、「コミュニケーション英語Ⅱ」の新出語(694語)を掲載し、初出ページを示した。

2. 対照表

	図書の構成・内容 (■=LESSONなど ●=課間 ◎=付録)	学習指導要領の内容
言語活動	<p>■LESSON, Reading さまざまな題材に関する英文を聞く。</p> <p>■Before You Read レッスンへの導入となる英文を聞く。</p> <p>■Q&A 本文の内容についての質問を聞いて、それに答える。</p> <p>■TF 題材内容に関する文の聞き取りをする。</p> <p>●Activity CornerのListening 対話や討論、およびスピーチの聞き取りをする。</p>	第2款 第3 2 (1) ア
	<p>■LESSON ターゲットとなる文法事項を含む英文を、速読または精読する。</p> <p>■Read Again 本文内容の要点をとらえる英文を読む。</p> <p>■Reading Skill 読む活動の深化のため、読むためのコツを学ぶ。</p> <p>■Comprehension 本文の概要をとらえる英文を読む。本文を音読し、暗唱する。</p> <p>■Reading 物語を速読または精読する。内容が効果的に伝わるように音読する。</p>	第2款 第3 2 (1) イ
	<p>■LESSON 題材に関連した内容について話す。</p> <p>■Before You Read レッスンへの導入となる質問について意見の交換をする。</p> <p>■考えてみよう PISA型の読解力を養い、自分の意見を述べる。</p> <p>■Self Expression 本文の内容に関連した自己表現活動を行う。</p> <p>●Activity CornerのLet's Talk 学習した表現を使って対話、スピーチを行う。その内容について話し合い、結論をまとめる。</p>	第2款 第3 2 (1) ウ
	<p>■LESSON 題材に関連した内容について書く。</p> <p>■Comprehension 本文の概要について書く。</p> <p>■Self Expression 本文の内容に関連した問いについて、調べたことや自分の考えを書く。</p> <p>●Activity CornerのLet's Talk 学習した表現を使って、調べたことや自分の考えを書く。</p>	第2款 第3 2 (1) エ
言語活動の配慮事項	<p>■LESSON, Reading ターゲットとなる文法事項を含む英文を聞き、内容の展開が伝わるように読む練習をする。</p> <p>■Comprehension 本文の内容の展開が伝わるように読む練習をする。</p> <p>■Self Expression 本文の内容に関連して、自分の意見や考えについて話す練習をする。</p> <p>●SOUNDS 英語の音声的な特徴を学ぶ。</p>	第2款 第3 2 (2) ア
	<p>■LESSON, Reading 論点や根拠を明確にしなが、文章の構成に注意して読む。</p> <p>■Reading Skill 読む活動の深化のため、文章の構成などに注意しながら読む練習をする。</p> <p>●Activity Corner 4 図表との関連を考えながら読み、図表に基づいた文章を書く。</p>	第2款 第3 2 (2) イ
	<p>■Before You Read 背景となる知識を活用して、英文を聞いたり読んだりするための準備をする。</p> <p>●Vocabulary Building 3 (p.92) 未知の語の意味を推測する方法を学ぶ。</p> <p>■LESSON 10 Reading Skill (p.137) 未知の語の意味を推測しながら読む。</p>	第2款 第3 2 (2) ウ
	<p>■Self Expression 本文の内容に関連した問いについて、説明や描写の表現を工夫して書き、話す。</p> <p>●Activity CornerのLet's Talk 学習した表現を使って、内容が効果的に伝わるように書き、話す。</p>	第2款 第3 2 (2) エ
	<p>■各LESSONの内容 学習指導要領で例示された場面について、各単元で取り扱うよう適切に配置している。(→カリキュラム表参照)</p> <p>各LESSONの言語活動では、当該の言語材料が効果的に使われるように配慮し、それらの定着を図るとともに、使用場面を明確に提示し、場面に応じた表現の練習ができるようにした。</p> <p>さまざまな学習形態の言語活動を配置し、ペア・ワークやグループ・ワークなどの多彩な授業展開ができるように配慮した。</p> <p>■Before You Read, ■Q&A 英語で行われる授業の進行を促すように配慮した。</p> <p>●Activity Corner 英語で行われる授業の進行を促すように、またさまざまなテーマについての対話や討論、スピーチができるように配慮した。</p>	第2款 第3 3 第3款1 第3款3イ 第3款4 第4款2 (1) 第4款2 (4)

音声	<p>■傍注欄 新出語の発音表記とともに、発音の練習をする。発音、強勢などに注意すべき語にはマークを印した。</p> <p>●SOUNDS つづりと発音の関係を意識しながら語や語句および文の発音、強勢、イントネーション、音のつながりの練習をする。</p>	第4款2 (2)
単語・表現	<p>■傍注欄 本文中の新出の語を提示した。つづりに注意すべき語にはマークを印した。</p> <p>■脚注欄 本文中の連語、慣用表現、例文を提示した。</p> <p>●Vocabulary Building 日本語と英語の対応、反意語、同綴異義語、語根、アメリカとイギリスにおけるつづりの違いについて、語彙定着の一助となるように提示した。</p> <p>◎WORD LIST, IDIOM LIST 本文中に出てくる新出語、熟語について、アルファベット順に示した。</p> <p>■LESSON他 表現は現代の標準的な英語によるものとした。</p>	第3款2ア (ア) 第3款2ア (イ) 第3款3ア
文法	<p>■Grammar 各LESSONの文法事項を学習する。Section 1は主として中学校や「コミュニケーション英語Ⅰ」の復習項目とした。</p> <p>■TRY Grammarで学習した文法を使って、コミュニケーション活動を行うことができるように配慮した。</p> <p>●文法のまとめ 関連のある文法事項を整理し、まとめて提示した。</p> <p>◎文型・文法例文集 本課で学習した文法事項の例文をまとめて提示した。</p>	第3款2イ・ウ 第3款3イ・ウ
題材	<p>■LESSON, ■Optional Reading, ■Reading, ●Activity Corner</p> <p>本文や言語活動においては、生徒の発達段階および興味・関心に即した題材を配置した。</p> <p>題材を選定するにあたっては、「ことばの教育」「国際理解教育」「人間教育」の領域をバランスよく配置した。</p> <p>形式は、スピーチ、レポート、レクチャー、対話文、説明文、物語など変化をもたせた。</p> <p>場面は日本を中心に、英語圏諸国、ヨーロッパ、アジア、中南米、アフリカを配置した。</p> <p>登場人物の出身国は、日本、英語圏、その他の国をバランスよく配置した。</p>	第4款2 (1)
中高接続	<p>■Grammar 各LESSONのSection 1では、主として中学校や「コミュニケーション英語Ⅰ」で学んだ文法事項をふり返り、「コミュニケーション英語Ⅱ」での学習内容への橋渡しをする。</p>	第2款 第3 3
自立学習	<p>◎CONTENTS, この教科書の使い方 1年間の学習内容(題材、文法事項)を一目でとらえられるように提示し、計画的な学習を促す。</p> <p>■各課とびら 各LESSONのはじめに配置し、当該LESSONで扱っている題材や学習事項を確認し、学習の見通しが立てられるように配慮した。</p> <p>■傍注欄 本文中の新出の語を提示した。つづりや発音、強勢に注意すべき語にはマークを印した。</p> <p>■脚注欄 本文中の連語、慣用表現、例文を提示した。</p> <p>■Optional Reading 本課の内容に関連した題材をやさしい英文で配置し、生徒の知的好奇心を刺激しつつ、多読学習に役立てるように配慮した。</p> <p>●Vocabulary Building 日本語と英語の対応、反意語、同綴異義語、語根、アメリカとイギリスにおけるつづりの違いについて、辞書の活用も含めて語彙定着の一助となるように提示した。</p> <p>●文法のまとめ 関連のある文法事項を整理し、まとめて提示した。</p> <p>◎文型・文法例文集 本課で学習した文法事項の例文をまとめて提示した。</p> <p>◎WORD LIST, IDIOM LIST 本文中に出てくる新出語、熟語について、アルファベット順に示した。</p>	第4款2 (3)

※配当時間については、別紙カリキュラム表を参照。

カリキュラム表

L = LESSON, R = READING, OP = OPTIONAL READING

課	タイトル	主な言語材料	題材/場面	はたらき	L	S	R	W	配当時間
L1	Pictograms	SVC, SVO / SVO (O=if 節) / SVC (C=分詞)	コミュニケーション、比較文化/本	理由を述べる 推論する	○	○	○	○	4
	OP Coats of Arms				○		○		(1)
L2	A New Way to Clean Up the Ocean	SVO1O2 (O=that / what 節) / SVO1O2 (O2=if 節) / It seems that 節	環境、生き方/雑誌	反対する 主張する	○	○	○	○	4
	OP Waste Banks				○		○		(1)
文法のまとめ1		いろいろな文型							1
Activity Corner 1			異文化/旅行	聞き直す 望む	○	○	○	○	1
VOCABULARY BUILDING 1		日本語と英語の対応							1
L3	Cuba	形式主語の it / 形式目的語の it① / 形式目的語の it②	国際理解、歴史/本、雑誌	説明する 話題を発展させる	○	○	○	○	4
	OP "Go" in Cuba				○		○		(1)
SOUNDS 1		子音の発音			○	○			1
VOCABULARY BUILDING 2		関連する単語							1
L4	The World's Poorest President	SVOC (V=知覚動詞、C=動詞の原形) / SVOC (V=知覚動詞、C=過去分詞) / SVOC (V=使役動詞、C=過去分詞) / help+O+動詞の原形	環境、人生、生き方/演説、新聞	心配する 主張する	○	○	○	○	5
	OP The Uruguayan National Drink				○		○		(1)
文法のまとめ2		it のいろいろ							1
Activity Corner 2			地理、歴史/旅行、学校での活動、スピーチ	助言する 話題を発展させる	○	○	○	○	1
R1	The Open Window		物語/本	相づちを打つ 描写する	○	○	○		6
SOUNDS 2		母音の発音			○	○			1
L5	Eye Contact	関係代名詞(主格) / 前置詞+関係代名詞 / 関係代名詞の非制限用法 / 関係副詞の非制限用法	コミュニケーション/映画、本	説明する 話題を発展させる	○	○	○	○	5
	OP Blind Soccer				○		○		(1)
L6	A Space Elevator	現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了進行形 / 未来進行形	宇宙、科学/本、雑誌	依頼する 話題を変える	○	○	○	○	5
	OP Hayabusa 2				○		○		(1)
文法のまとめ3		時を表す表現のいろいろ							1
Activity Corner 3			映画/地域での活動、討論	仮定する 驚く	○	○	○	○	1
VOCABULARY BUILDING 3		単語の中心的な意味							1
L7	An Encouraging Song	助動詞 / 助動詞+have+過去分詞 / would を使った表現 / 完了不定詞	ことば、音楽/新聞記事、テレビ	推論する 理由を述べる	○	○	○	○	5
	OP Heal the World				○		○		(1)
SOUNDS 3		ストレス・リズム			○	○			1
VOCABULARY BUILDING 4		アメリカ英語とイギリス英語							1
L8	Language Contacts	仮定法過去 / 仮定法過去完了 / if を使わない仮定法 / no matter +疑問詞	ことば、歴史/本、新聞記事	推論する 仮定する	○	○	○	○	5
	OP A Pidgin English				○		○		(1)
文法のまとめ4		wh-語などのいろいろ							1
Activity Corner 4			比較文化/家庭での生活、学校での活動、スピーチ	報告する 要約する	○	○	○	○	1
SOUNDS 4		イントネーション			○	○			1
L9	Charles Chaplin	分詞構文 / 受け身の分詞構文 / 完了形の分詞構文 / 付帯状況の with	人物、生き方、人権/本、映画	描写する 理由を述べる	○	○	○	○	5
	OP A Speech from The Great Dictator				○		○		(1)
L10	The Five-story Pagoda of Horyuji	同格を表す that 節 / 倒置 / 省略 / 強調構文	日本伝統文化、自然科学、歴史/本	言い換える 話題を発展させる 理由を述べる	○	○	○	○	5
	OP Pyramid - A Stone Structure				○		○		(1)
文法のまとめ5		that のいろいろ							1
R2	A Letter to Italy		物語/映画	驚く/主張する 注意を引く	○	○	○		6
文型・文法例文集									10
WORD LIST									
IDIOM LIST									